

# 大学院ニュースレター

## 久留米大学大学院医学研究科

第92号 / 2019年10月16日発行

編集 / 医学研究科長

### 『緩和ケアの心を持って研究を』

緩和ケアセンター 教授 福重 哲志

大学院院生の先生方は毎日研究に励んでおられることと思います。

この記事の表題「緩和ケアの心を持って研究を」に違和感を感じる先生方も多いのではないのでしょうか？緩和ケアという言葉聞いたことがない方はいないと思います。がん患者の場合は「がんの診断の時から緩和ケア」と言われますが、多くの他の疾患の場合は死を見据えなければならない時期から患者・家族に本格的に提供されるのが緩和ケアであると思います。緩和ケアを簡単に述べるならば患者・家族に生じる様々な辛さをチームの力で評価して、できるだけ辛さを和らげその人らしく穏やかに過ごしていただくようにすることです。

医療は疾患の診断と治療を行うことを大きな目標としていますが、その目標と同時に患者・家族の辛さを和らげるという使命を持っています。この使命は緩和ケアの目的と同じことです。言い換えるならば緩和ケアは医療の基本をなしているという事になろうかと思えます。

死を見据えなければならない時期に至った患者とその家族には一人の人間としての様々な辛さが生じてきます。痛みや倦怠感、呼吸困難などの身体的辛さ、不安、抑うつ、睡眠障害などの精神的辛さ、経済的問題、仕事上の問題、家族との問題などの社会的辛さ、死の恐

怖、生きる意味の喪失、罪悪感などのスピリチュアルペインと言われる辛さ、まさに人間総体としての辛さが生じてくるのです。それぞれの辛さを評価し対処するには一職種では不可能で多職種によるチームで評価し対処する必要があります。また、緩和ケアの実践では患者・家族と医療者間、医療者同士のコミュニケーションが良好であることがとても大切です。これらの事は死を見据える必要のない疾患の治療の時期の患者・家族にも当てはまることです。

大学院生の先生方の研究テーマは医学医療の様々な分野に及んでいることと思います。どの分野の研究に際しても患者・家族の辛さを和らげるという緩和ケアの心をもって研究に臨んでいただきたいと思えます。

もう一つ付け加えさせていただきたいことがあります。それは世の中の動きを常に監視してもらいたいという事です。研究に没頭されることで世の中の動きに疎くられる方もおられるのではないかと思います。日本の1割の子供たちは十分な食事を摂ることができない状況であると言います。戦争が始まれば人間の幸せは踏みにじられ研究どころではなくなります。人々に苦痛を強いるような政策が実施される場合もあります。常に世の中の動きを監視し自分の意見を持つことも大切であると思えます。社会の中の一員としての研

究者という姿勢を持ち続けてください。

研究生活を今後一生涯継続される方もおられるでしょう。大学院時代が唯一研究に没頭できる時期であるという方もおられることと思います。いずれにせよ、研究に没頭できる生

活ができるという事は人生の中で素晴らしいことだと思います。お身体を大切に研究に励んでください。

先生方の研究が成就されることをお祈り致します。



## ～NEWS～

### ◆Scopus および Mendeley の講習会開催について

医学図書館では利用者の皆様へ各種 Web 版データベースを提供しております。

今回、Scopus および Mendeley の講習会をエルゼビア社より講師をお招きして実習形式にて開催します。質疑応答もできますので、迅速かつ有効な検索のコツ、疑問点等を解決できる機会です。多数のご参加をお待ちしております。

日 時 : 令和元年 10 月 25 日 (金)

【1 回目】 16 : 00～17 : 30 【2 回目】 18 : 30～20 : 00

2 回の講習会を予定しております (ご都合のよい時間にお越しください)。

場 所 : 基礎 3 号館 1 階 コンピュータ実習室 A 教室

講 師 : 高石 雅人 氏 (シニアソリューションコンサルタント)

対 象 : 研究者、教職員、大学院生



**\*注意：講習会までにご自分のアカウントを必ず作成ください。アカウント作成については以下のサイトをご参照ください。**

医学図書館ホームページ>検索ツール>データベース一覧>オンライン講習会>Mendeley セットアップ編

URL : [https://medlib.kurume-u.ac.jp/searchtool/searchtool\\_3.html#6](https://medlib.kurume-u.ac.jp/searchtool/searchtool_3.html#6)

<問合せ先> 医学図書館 ダイヤルイン : 31-7529、内線 : 3086

## 《事務通信》

### 研究題目及び学位論文提出予定の確認調査実施について

修士課程 2 学年、博士課程 4 学年を対象に、研究題目及び学位論文提出予定の確認調査を実施しておりますが、まだ未提出の方は調査書類に必要事項を記入の上、必ず医学部事務部教務課までご返送下さい。併せて学位論文の申請・審査手続通知についてもご確認下さい。学位に関して不明な点は、[医学研究科 HP「学位申請情報」](#) → [「学位申請に関する Q&A」](#) をご覧ください。

(学位論文のお問い合わせ先 : 医学部事務部庶務課学位担当 : 米村・飯田 内線 : 3014)

## 第5回研究発表会の開催について

今年度も研究発表会を12月9日(月)・10日(火)に開催します。ご自身の研究の進捗状況を発信し、講座の枠を超えて横断的にフィードバックを得ることができる機会ととらえ、ふるってご参加ください。また、ご自由に聴講いただくことも可能です。(1年生は原則聴講してください) 大学院生の研究発表終了後に大学院情報交換会の開催を予定していますので、多数のご参加をお待ちしています。

### ◆修士・博士課程の皆様へ◆

## 2019(令和元)年度 大学院セミナーシリーズ (特別講義)

### カリキュラムのお知らせ

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
内科学講座(呼吸器・神経・膠原病内科部門)	10月31日(木) 16:00~17:30	臨床研究棟2階 共同カンファレンスルーム	審良 静男 先生 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任教授/大阪大学名誉教授)	自然免疫と炎症
内科学講座(消化器内科部門)	12月5日(木) 18:00~19:30	基礎3号館1階 セミナー室	佐藤 俊朗 先生 (慶應義塾大学医学部・教授)	未定(オルガノイド研究に関するご演題の予定)
医化学講座	12月13日(金) 18:00~19:30	基礎1号館2階 会議室	河野 隆志 先生 (国立がん研究センター・先端医療開発センターゲノムトランスレーションリサーチ分野・分野長及びがんゲノム情報管理センター情報利活用戦略室長)	保険診療での遺伝子パネル検査とがん研究

日時・場所等に変更がある場合には、大学院医学研究科ホームページでお知らせ致します。  
また、当該科目履修者は5回以上のセミナー出席およびレポートの提出をお願い致します。  
レポートについては、各セミナー終了後1週間以内に、医学部事務部教務課までご提出下さい。



## 令和2年度 入学試験 要項決定！！

令和2年度 大学院医学研究科入学試験要項が、下記の通り決定しましたのでお知らせ致します。

### 【試験日程】

修士・博士ともに同一

#### \*前期試験

出願受付期間：令和元年9月17日（火）～令和元年9月27日（金）必着

試験期日：令和元年10月15日（火）

合格発表：令和元年11月15日（金）午前10時

#### \*後期試験

出願受付期間：令和2年1月14日（火）～令和2年1月24日（金）必着

試験期日：令和2年2月18日（火）

合格発表：令和2年3月13日（金）午前10時

※他に出願資格審査申請受付期間を設定しているのでご注意ください。

### 【試験内容】

#### \*修士課程

《医科学専攻 基礎医学群・社会医学群》

《総合生命科学・バイオ統計学専攻 総合生命科学群》

《看護学専攻 修士論文コース・専門職養成コース》

英語・小論文・面接

《総合生命科学・バイオ統計学専攻 バイオ統計学群》

英語・面接

#### \*博士課程

英語・面接

出願資格審査、出願方法等詳細につきましては、本学大学院医学研究科ホーム

ページの「入試情報」をご確認ください。科目等履修生も同時募集中です。QRコード→



※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※

**編集後記** 9月から令和2年度 学生募集が本格的にスタートし、先日、前期入学試験が終了いたしました。本学大学院教育を多くの方々に周知・ご理解いただき、今後も広報活動に力を入れ、より多くの入学希望者に恵まれるよう努めて参りたいと思います。また、12月には5回目となる研究発表会が予定されています。学術交流の機会になりますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。季節の変わり目ですのでどうぞお身体ご自愛ください。(林)